

## 1. 案件の概要

### (1) 案件名

(和文) 平成29年度パプアニューギニア国別研修「教材の質の改善  
(第2バッチ第2回)」

(英文) Improvement of Quality of Teaching Materials (Short-Term Training)

(2) 研修期間 平成29年10月30日～平成29年12月8日

(3) 研修員数 8人

(4) 国立大学法人 鳴門教育大学 研修コースリーダー 田村 和之

## 2. 案件目標（アウトカム）と単元目標（アウトプット）の達成度

### (1) 案件目標（アウトカム）

#### 案件目標：

- 理数科に関する教科内容知識及びPCK (Pedagogical Content Knowledge), また質の高いカリキュラム・教科書の開発へのそれらの活用にかかる理解を深める
- OBC (Outcome Based Curriculum) からSBC (Standard Based Curriculum) へのカリキュラムの転換を遂行するための実践的な能力を強化する

#### 指標：

研修員が本邦研修終了までに、発表したレポート等により理解度が一定レベルに達成しているか確認される。

### (2) 単元目標（アウトプット）

#### 単元目標①：

教科書・カリキュラムの課題が特定される。

#### 指標：

研修員が研修中に発表したレポート等にまとめられた「教科書・カリキュラムの課題」に関する記述等の内容について4段階評価がB（やや優れている）以上。

#### 単元目標②：

教科書・カリキュラムの開発に必要な知識とスキルを獲得する。

#### 指標：

研修員が研修中に発表したレポート等にある「教科書・カリキュラムの開発」に関する記述等の内容の4段階評価がB（やや優れている）以上。

#### 単元目標③：

PNGにおいて質の高い教科書・カリキュラムを開発するために、単元目標②で得られた知識とスキルを活用できるようになる。

#### 指標：

研修員が研修中に発表したレポート等にある「研修で得られた知識とスキルの活用」に関する記述等の内容の4段階評価がB（やや優れている）以上。